



斉藤麻子さん 日本写真協会新人賞受賞、おめでとうございます！

表紙写真と「露頭の風景・写真家の視点」を担当されている斉藤麻子さんが、平成24年日本写真協会新人賞を受賞されました。おめでとうございます。この新人賞は公益社団法人日本写真協会の「日本写真協会賞」の一つで、日本国内で近年写真作品を発表した将来を期待される有能な新人写真家に対して与えられます。

斉藤さんの受賞理由は、「日本各地に点在する地層の露出（露頭）を丹念に調査しつつ中・大判カメラの精緻な描写力によって表現し、その周縁を形成する人間の営みまで写し込んで現代社会に対する批評性を内包させた作品「Exposures」や「Field Note」に対して」と書かれています。地質にかかわる我々としては、露頭が注目されることは大変喜ばしいことであり、二重の喜びです。また、過去の新人賞受賞者を見ますと著名な写真家の方が何人も含まれております。本編集委員会・事務局も斉藤さんの今後のますますの活躍を期待し、楽しみにしております。

日本写真協会は、写真を通じて国際親善の増進と、文化の発達に寄与することを目的として、1952年設立された団体で、現在の会員数は、正会員約1,700人、賛助会員60社で、日本の写真界を包括する組織です。写真協会賞は毎年6月1日「写真の日」に表彰をおこなっています。詳しくは、<http://www.psj.or.jp/psjaward/2012.html> をご覧ください。

(GSJ 地質ニュース編集委員会)

【スケジュール】

4月17～7月1日	地質標本館特別展示 砂漠を歩いてマントルへ—中東オマーンの地質探訪—(産総研, つくば)
6月23～6月24日	2012年度土壤微生物学会大会(神戸大学)
6月29～7月1日	日本古生物学会2012年年会(名古屋大学)
7月9日～7月11日	第49回アイソトープ・放射線研究発表会(東京大学農学部弥生講堂)
7月13日～7月15日	日本藻類学会第36回大会(北海道大学学術交流会館)
7月18日～9月30日	地質標本館 夏の特別展 「ミクロな化石で地球を探る—微化石と地質調査—」(産総研, つくば)
7月21日	産総研つくばセンター—般公開
7月21日	地質標本館 特別講演会 「ジオパークへ行こう！」(産総研, つくば)

◆ 編集後記 ◆

今月号は、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震と津波によって引き起こされた地質災害を受けて、産総研地質分野で実施する複合地質リスク評価プロジェクトと地下水等総合観測施設整備に関する特集号です。地質分野研究企画室からの地質分野としての対応についての概要説明に続き、各プロジェクトから、(1)過去の津波の解明、(2)東北地方太平洋沖地震で誘発された内陸地震の現状と地震災害リスク評価、(3)地盤液状化リスク評価、(4)津波堆積物に起因する土壌汚染リスク評価、(5)地下水汚染リスク評価、さらに(6)南海地震予測のための地下水等総合観測点整備、等々に関する研究例や今後の取り組みについての紹介がなされています。これらの研究が進み、事前にリスク評価をすることで、今後起こりうる地震災害の軽減に少しでも貢献できるようになることを願っています。

本号では、説明用にカラーの挿図がたくさん使用されていますが、白黒印刷では判別しにくいものがいくつかあります。印刷版をご愛読いただいている読者の方には、WEBで公開しているPDF版もあわせて閲覧していただければと思います。

最後に、表紙に連載をいただいている写真家の斉藤麻子さんの受賞の話題が掲載されています。斉藤さんの一連の「露頭写真」により一般市民の方々にも地質を身近に感じていただければ幸いです。

(6月号担当：利光誠一)